

目次 Contents

- | | |
|---|------------------------------|
| 3 あなたも始めてみませんか、市民活動！ | 18 Let's SPORTS |
| 4 コミュニティFMキャラクターが決定 | 21 生涯 楽 習 た より |
| 5 Shimotsuke-City Topics まちの話題 | 22 図書館だより |
| 8 下野市奨学生追加募集します！ | 24 新・下野市風土記 |
| 9 プログラミングコンテストを開催しました | 25 障がい福祉瓦版 |
| 10 保健だより  Health Information | 26 暮らしの情報 |
| 13 ファミリー・サポート・センター | 38 2月のカレンダー |
| 14  環境トピックス | 39 国際交流員カロリンのコラム |
| 16 国民年金だより | 40 イベントカレンダー |
| 17 しもつけ福祉大会 | |

今月の表紙

～「しもぴい」です。よろしく～

下野市では、今年12月にコミュニティFMの開局を目指し整備を進めていますが、そのイメージキャラクターが決定しました。

名前は「しもぴい」で、市の特産品である「かんぴょう」と市の鳥である「うぐいす」を掛け合わせたデザインになっています。

デザインは、大阪市にお住まいの福添歩美さんによるものです。

うぐいすのように、きれいな声で下野市の話題を皆さんにお届けできるようなラジオにしていきたいと考えています。

そして「しもぴい」の背景にあるのは、祇園1丁目に建築予定のサテライトスタジオのイメージです。市民の皆さんが集い、楽しめるようなスタジオを目指していますのでよろしくお願い致します。

今月の何の日

2月23日 風呂敷の日

日本の伝統的な日用品であり、繰り返し使用可能なエコ製品としてPRすることを目的に2000年に日本風呂敷連合会によって制定されました。つつみ(223)の語呂合わせが由来となっています。

物を包むための布がなぜ「風呂敷」という名前なのかご存知ですか。語源は文字どおり風呂で敷くことから来ています。しかし、最初から風呂敷という名前ではなく、奈良時代にはツツミという呼び名で、寺などにある宝物を包むのに使われていました。風呂敷が風呂で使われるようになるのは、室町時代に入ってからです。将軍足利義満は、京都に建てた屋敷に大湯殿を設けて全国の大名たちをもてなしました。このとき、彼らは脱いだ服を取り違えないように、それぞれ自分の家紋の入った

風呂敷に包み、湯上がりには風呂敷の上で身づくろいをしたと言われていました。

このときはまだ、風呂に敷く布は「風呂敷」、包み布を「平包」や「ふくさ」と素材や用途によって名前が違いましたが、江戸時代に入ると、風呂敷が庶民の暮らしでも広がっていくにつれて、この呼び名が広まり定着しました。

現在、物の持ち運びには鞆が多く使われ、時代とともに風呂敷を見かけなくなりましたが、大切な方への贈り物や祝儀を包むときなど、需要は今なお健在で、最近ではインテリアとしても活用されています。1枚あれば様々なことに利用できる風呂敷は、これからも変わらずに重宝され、人々の生活に寄り添って生きていくのだと思います。

■人口と世帯（1月1日現在）

人口/60,141人(-33)、男性/29,818人(-21)、女性/30,323人(-12)、世帯数/23,953世帯(+1)

